

子どもの孤立を防ぐ。

私たちの周りで、子どもたちやその家族を支援するために活動している人たちがいます。皆さんも、「**あの子大丈夫かな？**」という意識を持つことから始めてみませんか。

子どもはもちろん、大人にとっても、ここに来たら何か助けてもらえるとか、何か落ち着くとか、そういう居場所になりたいと思っています。誰かを頼りたい、話したいと思ったら、いつでも気軽に来てください。

子どもの目線で、困っていることを一緒に考えるようにしています。学校と協力して、子どもが学び続けられる環境をみんなで作っていきたくですね。もっと私たちの存在を知ってもらって、何かあったら連絡してみよう、一緒に考えてくれる人がいるんだということを知ってほしいです。

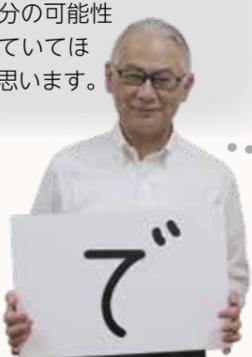
子どもは1人ひとり状況や目標が違うので、学習だけでなく、その子全体を見ながら話を聞き、個性を理解して接するように心がけています。環境や生活に押しつぶされないで、自分の可能性を信じてほしいと思います。

さまざまな家庭の背景があることを理解し、気にかけて見守り、相談を受けた時には傾聴に心がけます。子どもたちには、夢を諦めないでほしいです。まずは私たちが正しい知識を広め、社会全体で考えを分かち合いたいと思います。

ヤングケアラーという切り口で相談が寄せられることは現状ほぼありませんが、他の問題で家庭に入って、一歩引いて世帯全体を見たときに、この子はヤングケアラーかも…という子に出会います。少し意識して見てみるのが大切なんだと思います。

社会福祉協議会
「福祉なんでも相談」
☎24-0700

日々、関係団体との情報交換に努めています。あれっと思ったらつないでほしいですね。そこからどう支援するかは、よく検討する必要がありますので、みんなで集まって協議しようよっていう体制づくりを、支援者側も意識しなければいけないと考えています。



きっちゃん・こすもす(子ども食堂)
さくらいけいこ
櫻井敬子さん

久喜市教育委員会
スクールソーシャルワーカー
そめやかずみ おちあいつ
染谷和美さん、落合統一さん

一般社団法人彩の国子ども・若者支援
ネットワーク(久喜市学習支援事業委託)
のもしょうご
野本陽吾さん

久喜市民生委員・児童委員協議会
児童福祉部会 部会長
はら
原みよ子さん

久喜市社会福祉協議会
さとうゆういち もちづきあやみ
佐藤裕一さん、望月彩美さん



▲10月22日、きっちゃん・こすもすで開催された市内子ども食堂等一覧



▲市内全小・中学校の校長先生と定期的に意見交換するスクールソーシャルワーカー



▲学習支援に限らず、子どもたちから話を聞くことを大事にしている支援員(同ネットワーク提供)

久喜市役所 相談窓口



- ▶ 高齢者のケアに関すること
高齢者福祉課 地域包括支援係(内線3272~3276)
- ▶ 障がい・難病のある方のケアに関すること
障がい福祉課 自立支援第1・第2係(内線3247~3259)
- ▶ 保護者や幼いきょうだいのケアに関すること
子ども未来課 子ども・青少年係(内線3288・3290・3482)



どこに相談すればいいかわからない…

上記のどこの課でも構いません、**まずはご相談ください!**
内容により、関係部署と連携して対応します。



地域のつながりがチカラに

結びに
今回、取材を通して、多くの方とお話しさせていただきました。それぞれ立場は違うものの、共通していたのは「子どもを支援したい」という気持ち。ヤングケアラーという問題は表面化しづらく、見ようとしなければ見えてこない問題です。支援の方法に一つの正解はありませんが、地域全体で少しでも意識を変えられることができれば、安心できる誰かが増えるかもしれません。

今悩んでいる子どもたちへ
あなたを支えたいと思ってる大人は、必ず周りにいます。つらいときや困ったときは、ためらわずに誰かに話してみませんか。子どもの時間は、子どもだけのもの。あなたのかけがえない時間を、あなたのために使ってください。